

2019年 8月 7日

消化器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

## 「 Helicobacter pylori 未感染早期胃癌の内視鏡学的・臨床病理学的特徴の検討 」への協力をお願い

消化器内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究の対象:** 2005年1月～2018年12月に当科において、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)、外科的切除術を受けられた早期胃癌の方

**研究期間:** 倫理審査委員会承認日～ 2020年 3月 31日

**研究目的・方法:**

Helicobacter pylori (ピロリ菌)は強力な発癌因子でとされますが、近年の公衆衛生の向上に伴い罹患率は低下傾向にあります。それに伴いピロリ菌未感染胃癌 (HPINGC: Helicobacter pylori infection-negative gastric cancer)の報告は増加傾向にあります。しかし報告されるHPINGCの内視鏡像は多彩であり、系統だった報告は現時点ではありません。本研究では施設内でHPINGCと診断された症例を内視鏡的・臨床病理学的に分類することで、今後増大すると思われるHP未感染症例に対する内視鏡検査の一助となることを目的とします。

**研究に用いる試料・情報の種類:**

内視鏡的粘膜下層剥離術を施行された胃検体、外科的切除術を施行された胃検体  
以下の項目について、診療録より取得します。

年齢、性別、肉眼型、深達度、腫瘍径、組織型、リンパ管侵襲、静脈侵襲、潰瘍(UL)の有無、水平断端、垂直断端、免疫染色(MUC5AC, MUC6, MUC2, CD10, p-53, MIB-1, Pepsinogen, H+ /K+ ATPase, chromograninA, E-cadherin)

**研究への参加辞退をご希望の場合**

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

**研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反**

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

#### **連絡先**

岐阜大学医学部附属病院 第一内科

電話番号 058-230-6059

氏名：水谷 拓

#### **研究責任者**

岐阜大学医学部附属病院 光学診療部

氏名：荒木 寛司